

# 令和7年度版中学校道徳教科書 中学生の道徳 検討の観点と教科書の特徴

## ●教育基本法(第2条)との関連●

検討の観点	教科書の特徴	具体例
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、 真理を求める態度を養い、豊かな 情操と道徳心を培うとともに、 健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特に真理を求める態度を養うことに関する内容項目「真理の探究、創造」を扱う教材では、さまざまな人物に触れることで、好奇心、探究心、創造の喜びなど、多様な視点を取り上げた。</li> <li>●健やかな身体を養うことに関わる内容項目「節度、節制」に関する教材では、心身の健やかな成長を重視し、現代的な課題である情報機器との関わりを考慮した。また、1年では生活習慣の自己確認ができるチェックシートを設けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1年「初めての実験―山中伸弥」P110-113</li> <li>●2年「ミスター・ヌードル―安藤百福」P64-69</li> <li>●3年「小浜のさば缶、宇宙へ行く」P114-119</li> <li>●1年「釣りざおの思い出」P46-48、Thinking「あなたの生活習慣は？」P49</li> <li>●2年「ほどほどライン」P48-51</li> <li>●3年「リアルとネットの不思議」P56-59</li> </ul>
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を 伸ばし、創造性を培い、自主及び 自律の精神を養うとともに、職業 及び生活との関連を重視し、勤 労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内容項目「向上心、個性の伸長」に関する教材をはじめとし、学習全般を通じて自己肯定感を高められるような教材を選定した。</li> <li>●自主及び自律の精神を養う学習を本書の重点の1つとし、内容項目「自主、自律、自由と責任」に関する教材を、全学年3教材配当した。</li> <li>●重点項目として、「思いやり、感謝」を全学年3教材配当するとともに、2年3年で「共に生きる社会」をテーマとしたユニットを設けることで、多様性を重んじ、他者を尊重する態度を養うことができるよう配慮した。</li> <li>●職業及び生活との関連を重視し、「キャリア」というテーマでユニットを設け、連続した学習の時間を通して学びを深められるよう配慮した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1年「木箱の中の鉛筆たち」P114-117</li> <li>●2年「虎」P74-79</li> <li>●3年「道徳 はじまりの時間 自分と向き合う」P6-9 など</li> <li>●1年「道徳 はじまりの時間 小さな勇気」P6-10、Thinking「勇気が湧く言葉」P11、「裏庭での出来事」P38-41、「ネット将棋」P54-57</li> <li>●2年「道徳 はじまりの時間 自分の人生って。」P6-10、Thinking「人生を巡る名言」P11、「ジョイス」P20-23、「闇の中の炎」P34-37</li> <li>●3年「ビヨ子」P50-54、Thinking「『友だち』限定？」P55、「リクエスト」P92-97、「小さな手鏡」P176-178</li> <li>●1年「バスと赤ちゃん」P12-13、「夜のくだもの屋」P128-133、「旗」P138-143</li> <li>●2年「地下鉄で」「加山さんの願い」「迷惑とは何ぞ」Thinking「共に生きるために、共に考える」連続P144-15</li> <li>●3年「ベビーカー論争」「目の見えない白鳥さんとアートを見に行く」「分身ロボットカフェへようこそ」Thinking「弱者をつくらない社会」連続P66-83 など</li> <li>●1年「時速二八五キロ、千三百人を乗せて。」「町内会デビュー」Thinking「除雪から広がる地域交流」「初めての実験―山中伸弥」、「木箱の中の鉛筆たち」連続P100-117</li> <li>●2年「加奈子の職場体験」「ミスター・ヌードル―安藤百福」、「イチロー選手のグローブ」「虎」連続P60-79</li> <li>●3年「風に立つライオン」「二人の進路選択」「小浜のさば缶、宇宙へ行く」連続P104-119</li> </ul>

<p><b>第3号</b> 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「いじめ」や「人権」に関する課題を取り上げた教材を「公正、公平、社会正義」を含む複数の内容項目で掲載するとともに、「『いじめ』を考える」というテーマで複数教材をユニット化し、連続して複数時間、学習できるように配置した。</li> <li>● 現代的な課題に即して、男女の平等を重んずる態度を養うために、多様な性のあり方をふまえた記述を取り入れたり、女性が社会で活躍することや異性との人間関係について考えることができる教材を配置したり、工夫した。また、自他の敬愛と協力を重んずることについては、本書の重点の1つである「思いやり、感謝」をはじめ、「よりよい学校生活、集団生活の充実」「家族愛、家庭生活の充実」などの、複数の内容項目に関する教材を掲載した。</li> <li>● 公共の精神に基づいて、社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うため、さまざまな現代的な課題と、その解決に向けての努力を取り上げた。また、すべての学年の巻末に「SDGsの視点から」というページを特設し、道徳科の学びと社会の課題を関連づけることで、発展的な学びを促すように工夫した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年「ヨシト」[ある日のバッテリーボックス]「魚の涙」Thinking「『いじめ』と向き合う」連続 P24-37</li> <li>● 2年「君、想像したことある？」「消えない落書き」連続 P28-33</li> <li>● 3年「卒業文集最後の二行」「君たちはどう考え、どう生きるか」連続 P32-41</li> <li>● 1年「時速二八五キロ、千三百人を乗せて。」P100-103、「旗」P138-143</li> <li>● 2年「一冊のノート」P160-165</li> <li>● 3年「二人の進路選択」P108-113 など</li> <li>● 1年「町内会デビュー」P104-108</li> <li>● 2年「加山さんの願い」P148-153</li> <li>● 3年「ゼロ・ウェイストの町ー徳島県上勝町」P134-139</li> <li>● 全学年 巻末 Thinking「SDGsの視点から」P180-181</li> </ul>
<p><b>第4号</b> 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生命尊重を本書の最重点項目と位置づけ、内容項目「生命の尊さ」に関する教材を全学年3教材、3時間配当した。また、それ以外にも、「家族愛、家庭生活の充実」や「国際理解、国際貢献」など、異なる内容項目の学習においても生命尊重との関わりで考えることのできる教材を数多く掲載した。</li> <li>● 「自然愛護」に関する教材はもとより、「相互理解、寛容」や「感動、畏敬の念」など、異なる内容項目の学習においても人間と自然との関わりについて多面的・多角的に考えることができる教材を数多く掲載した。また、各学年すべての学年の巻末に「SDGsの視点から」という持続可能な社会について考えるページを特設した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年「三六五×十四回分のありがとう」P78-83、「ふたりの子どもたちへ」P118-121</li> <li>● 2年「あなたの『生きようとする力』」P24-26、「天使の舞い降りた朝」P120-123</li> <li>● 3年「十五分後の奇跡」P20-22、「海と空ー樫野の人々」P60-64 など</li> <li>● 1年「あのハチドリのようにーワンガリ・マータイ」P150-155、「ガジュマルの木」P156-161</li> <li>● 2年「樹齢七千年の杉ー屋久島」P38-42、「北の大地から 野生の猛禽を守る」P 90-95</li> <li>● 3年「襟裳のこと」P130-133、「メジロ」P164-169 など</li> <li>● 全学年 巻末 Thinking「SDGsの視点から」P180-181 など</li> </ul>
<p><b>第5号</b> 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国や郷土の伝統や文化に関心を高め、親しみや愛着をもち、日本人としての自覚を促す契機になるような教材を選定した。</li> <li>● すべての学年の巻末に「ふるさとに学びを広げよう」というページを特設し、自分たちの郷土に目を向ける発展的な学習ができるように工夫した。</li> <li>● 日本人としての自覚をもって、他国を尊重し、国際理解、国際貢献に努めることの大切さを考え、世界の平和を希求する思いを高めることができるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年「アップロード作戦」P72-77、「日本探しの旅」P122-127</li> <li>● 2年「相馬野馬追の季節」P52-57、「国一王貞治」P102-105</li> <li>● 3年「運命の木ー姫路城の大柱」P158-163、「千年先のふるさとへー宮城県女川町」P170-174、Thinking「最後の石碑、そして未来へ」P175 など</li> <li>● 全学年 巻末 Thinking「ふるさとに学びを広げよう」P182-183</li> <li>● 1年「国際協力がってどういうこと？」P144-149</li> <li>● 2年「真珠の水ー中村哲」P166-171、Thinking「水への恩返しー福井県から東ティモールへ」P172-173</li> <li>● 3年「海と空ー樫野の人々」P60-64</li> </ul>

## ●学習指導要領との関連Ⅰ●

検討の観点	教科書の特徴	具体例
1 学習指導要領の道徳教育の目標に基づいて「道徳科」の授業ができるようになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道徳教育の目標の達成に資する授業ができるように、35本の教材を配列し、教科書を構成した。</li> <li>●各学年の巻末の「内容一覧」に内容項目と教材との関係や他教科等との関連を示した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学年 全教材</li> <li>●全学年 巻末「内容一覧」</li> </ul>
【道徳科の目標】 ①道徳的諸価値の理解を基に考えたり、話し合ったりできるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年の巻頭に、道徳科で学ぶ内容を示すことで、道徳の時間は人間としてよりよく生きるために大切なことを考える時間だということを生徒が意識して授業に臨めるように配慮した。</li> <li>●教材のはじめに内容項目を明示しないことで、生徒一人一人が教材と主体的に向き合い、自らの道徳的価値への理解を基に、考えたり話し合ったりできるよう配慮した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学年「道徳科の時間は、『自分を見つめ、考え、生きる』時間」P2-3</li> <li>●全学年 全教材</li> </ul>
②自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習ができる工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年の巻頭では、「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「自分の生き方を考える」についての具体例を示して、生徒が道徳科での学びをイメージし意識して進められるように工夫した。</li> <li>●物事を広い視野から多面的・多角的に考える学習を効果的に取り入れられるよう、問題意識をもち多様に考えることができる教材や他者との意見交換を促す発問などを用意した。また、教材の性質に合わせて、特に“自己を見つめる”に重点を置いた発問「自分を見つめて考える」、「物事を広い視野から多面的・多角的に考える」に重点を置いた発問「いろいろな見方で考える」を示し、授業者や生徒が学習しやすいように工夫した。</li> <li>●発問構成において、道徳科の目標が定める学習がすべてきちんと実践されるよう検討した。</li> <li>●生徒が、人間としての生き方についての考えを深める学習を意識できるように、実在の人物にクローズアップする教材を充実させた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学年「道徳科の時間は、『自分を見つめ、考え、生きる』時間」P2-3</li> <li>●全学年 全教材 発問</li> <li>●1年「挑戦することに、生きる—羽生結弦」P18-22、「パラリンピックを駆け抜けた『きずな』—道下美里」P84-88 など</li> <li>●2年「第二の水泳人生—池江璃花子」P12-15、「ミスター・ヌードル—安藤百福」P64-69 など</li> <li>●3年「道徳 はじまりの時間 自分と向き合う」P6-9、「夢へのステップ—大谷翔平」P10-13 など</li> </ul>
③道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●判断を問うような問題解決的な教材や心情に訴えかける感動教材、これからの生徒の生き方やあり方につなげていくような生徒の身近な題材や将来につながるような教材をバランスよく掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学年 全教材</li> </ul>

## ●学習指導要領との関連Ⅱ●

検討の観点	教科書の特徴	具体例
2 生徒が自ら道徳性を養うために、自己を振り返り成長を実感できるような工夫や評価への工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各学年の巻頭には「道徳 はじまりの時間」を設けた。また、新しい学年を迎えた生徒に今の自分とこれからの自分を見つめて考えるよう、授業開きとして、各学年の最初に「道徳 はじまりの時間」という教材を配置した。</li> <li>●教材の最後には、自分事として考えが深められるように「自分との対話」という問いを設けている。</li> <li>●学びを振り返り自己評価を書けるように、各学年の巻末に「学習の記録」シートを用意し、学期ごと、学年ごとに切り取って提出できるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学年「道徳科の時間は、『自分を見つめ、考え、生きる』時間」P2-3</li> <li>●1年「道徳 はじまりの時間 小さな勇気」P6-10</li> <li>●2年「道徳 はじまりの時間 自分の人生って。」P6-10</li> <li>●3年「道徳 はじまりの時間 自分と向き合う」P6-9</li> <li>●全学年</li> <li>●全学年 巻末「学習の記録」</li> </ul>

検討の観点	教科書の特徴	具体例
3 生徒が <b>主体的に道徳性を養う</b> ための指導に対する配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各教材の冒頭に内容項目を明示しないことで、生徒の主体的な問いや感動を生かした学びとなるよう工夫した。</li> <li>●「自分を見つめて考える」あるいは「いろいろな見方で考える」、「考えを深める」「自分との対話」という一連の発問を手がかりとして、主体的・対話的で深い学びにつながる学習ができるように構成した。</li> <li>●教材のタイトル下に配置した二次元コードから、教材に関する補助資料として、動画や写真、参考となる外部ページを見ることができ、生徒たちの発展的な学びを促すことができるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学年 全教材</li> <li>●全学年 全教材 発問</li> <li>●各二次元コード</li> </ul>
4 多様な考え方を生かすために「読む」「書く」「話す」「聞く」という <b>言語活動の充実</b> への配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教材によって役割演技や話し合い活動などを取り入れた「MY PLUS (マイ・プラス)」ページを設け、話すことや聞くことを通して学びを深められるように工夫した。</li> <li>●多様な考え方を示したり、考え方の違いをテーマにしたりすることで、意見交流が図りやすい教材を積極的に掲載した。</li> <li>●各学年の巻末の「学習の記録」シートは、折に触れて自分の考えを記述することができ、それを読み返すことで、過去の自分の考え方に触れて自己内対話を図ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1年「おかしな礼儀」P14-17「島耕作 ある朝の出来事」P90-93</li> <li>●2年「いつでも・どこでも・SNS」P44-47「地球の時間、ヒトの時間」P112-117</li> <li>●3年「夢へのステップ—大谷翔平」P10-13、「目の見えない白鳥さんとアートを見にいく」P70-77 など</li> <li>●1年「日本探しの旅」P122-127、「国際協力ってどういうこと？」P144-149</li> <li>●2年「ほどほどライン」P48-51「相馬野馬追の季節」P52-57</li> <li>●3年「君たちはどう考え、どう生きるか」P38-41、「ベビーカー論争」P66-69、「ドナー」P88-90 など</li> <li>●全学年 巻末「学習の記録」</li> </ul>
5 <b>問題解決的な学習</b> 、 <b>道徳的行為に関する体験的な多様な学習</b> 等ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各教材で問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた問いを示すなどして、主題やねらいに応じてそれぞれの要素を組み合わせながら、授業者の展開構想に柔軟に対応ができるよう工夫した。</li> <li>●グループでの役割演技や話し合いが活発にできるような体験的学習の「MY PLUS (マイ・プラス)」ページを用意した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全学年 全教材</li> <li>●1年「おかしな礼儀」P14-17「島耕作 ある朝の出来事」P90-93</li> <li>●2年「いつでも・どこでも・SNS」P44-47「地球の時間、ヒトの時間」P112-117</li> <li>●3年「夢へのステップ—大谷翔平」P10-13、「目の見えない白鳥さんとアートを見にいく」P70-77 など</li> </ul>

## ●学習指導要領との関連Ⅲ●

検討の観点	教科書の特徴	具体例
6 現代的な諸課題などを題材とし、生徒が <b>問題意識</b> をもって <b>多面的・多角的に</b> 考えたり、 <b>感動を覚えたり</b> できるよう工夫されているか。 ① <b>いじめ問題</b> について対応した指導ができるよう工夫されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「『いじめ』を考える」をテーマとし、複数教材を組み合わせたユニットを各学年に配置し、5月、6月に連続して重点的に学習できるように工夫した。</li> <li>●「いじめ防止と関わり深い内容項目「公正、公平、社会正義」で扱う教材はもとより、「友情、信頼」や「思いやり、感謝」、「生命の尊さ」など、さまざまな道徳的価値の理解を深めることを通していじめ防止につながるよう教材を選定した。</li> <li>●1年生の段階で理解を深めるために「いじめの四層構造」をThinking (コラム) で紹介した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●1年「ヨシト」「ある日のバッテリーボックス」「魚の涙」Thinking「『いじめ』と向き合う」連続P24-37</li> <li>●2年「君、想像したことある?」「消えない落書き」連続P28-33</li> <li>●3年「卒業文集最後の二行」「君たちはどう考え、どう生きるか」連続P32-41</li> </ul>

検討の観点	教科書の特徴	具体例
<p>② <b>命の大切さ</b>について考えることができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生命尊重を本書の最重点項目の一つと位置づけ、内容項目「生命の尊さ」に関する教材を全学年3教材、3時間配当した。「生命倫理」に関わる教材も取り上げ、生命の尊さについて多面的・多角的に考えることができるよう工夫した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年「自分の番 いのちのバトン」P50-52、「ふたりの子どもたちへ」P118-121、「語りかける目」P134-137</li> <li>● 2年「あなたの『生きようとする力』」P24-26、「消えない落書き」P30-33、「あふれる愛—マザー・テレサ」P124-127</li> <li>● 3年「十五分後の奇跡」P20-22、Thinking「生命 当たり前前の奇跡」P23、「ドナー」P88-90、Thinking「生命倫理 科学技術が生んだ新たな課題」P91、「誰かのために」P144-145</li> </ul>
<p>③ <b>情報モラル</b>について、発達段階を考慮しながら、充実した指導ができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「情報モラル」をテーマとし、複数教材を組み合わせたユニットを各学年に配置し、連続して学習ができるように編集した。また、匿名性の問題や依存性、デマ情報、情報の拡散と責任など、さまざまな課題を幅広く取り上げるよう工夫した。</li> <li>● Thinking（コラム）では、インターネットやSNSの注意点や有効性を取り上げて情報活用・発信への取り組み姿勢を育成するよう工夫した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年「ネット将棋」、「言葉の向こうに」、Thinking「インターネットの光と闇」、「ライオンが逃げた」Thinking「命を救ったSNS」連続P54-67</li> <li>● 2年「いつでも・どこでも・SNS」「ほどほどライン」連続P44-51</li> <li>● 3年「ピヨ子」、Thinking「『友達』限定?」、 「リアルとネットの不思議」連続P50-59</li> </ul>
<p>④ <b>科学技術の発展と生命倫理の関係</b>について考えることができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発達段階を考慮し、科学技術の発展と生命倫理との関係について考えることのできる教材を取り上げた。各教材の取り扱いについては、知見を得るだけでなく、それぞれの問題の解決に向けて取り組もうとする道徳的実践意欲と態度が養われるよう各教材の問いについて工夫を凝らした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2年「『がんばる』は僕の宿題」P86-89</li> <li>● 3年「ドナー」P88-90、Thinking「生命倫理 科学技術が生んだ新たな課題」P91</li> </ul>
<p>⑤ <b>SDGs</b>に対応した指導ができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持続可能な社会の発展をめぐる、さまざまな視点から生徒が考えられるような教材を配置した。</li> <li>● 各学年の巻末にThinking（コラム）ページを設け、教材を通して、持続可能な社会に向けての課題について考えを深められるよう工夫した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年「時速二八五キロ、千三百人を乗せて。」P100-103、「あのハチドリのように—ワンガリ・マータイ」P150-155</li> <li>● 2年「地球の時間、ヒトの時間」P112-117、「迷惑とは何ぞ」P154-157</li> <li>● 3年「襟裳のこと」P130-133、「ネルソン・マンデラ」P146-151 など</li> <li>● 全学年 巻末 Thinking「SDGsの視点から」P180-181</li> </ul>
<p>⑥ <b>キャリア教育</b>に対応した指導ができるよう工夫されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「キャリア」をテーマとし、複数教材を組み合わせたユニットを各学年に配置し、連続して学習ができるように工夫した。「勤労」だけではなく、「向上心、個性の伸長」や「希望と勇気、克己と強い意志」などの複数の内容項目からも学習できるように工夫した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年「時速二八五キロ、千三百人を乗せて。」「町内会デビュー」Thinking「除雪から広がる地域交流」「初めての受験—山中伸弥」「木箱の中の鉛筆たち」連続P100-117</li> <li>● 2年「加奈子の職場体験」「ミスター・ヌードル—安藤百福」、「イチロー選手のグローブ」「虎」連続P60-79</li> <li>● 3年「風に立つライオン」「二人の進路選択」「小浜のさば缶、宇宙へ行く」連続P104-119</li> </ul>
<p>⑦ <b>安全・防災</b>への意識が高まる指導ができるよう工夫がされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 阪神・淡路大震災や東日本大震災、熊本地震を教材で取り上げることで、防災や安全について考えを深めることができるように工夫した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年「ライオンが逃げた」P64-66、Thinking「命を救ったSNS」P67、「語りかける目」P134-137</li> <li>● 2年「相馬野馬追の季節」P52-57</li> <li>● 3年「千年先のふるさとへ—宮城県女川町」P170-174、Thinking「最後の石碑、そして未来へ」P175</li> </ul>
<p>⑧ <b>伝統と文化</b>について考えを深めることができるよう工夫がされているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発達段階に応じて、「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」の内容項目に関する教材を通して国や郷土の伝統と文化への関心を高め、日本人としての自覚をもって文化の継承・創造と社会の発展に貢献しようとする態度を養うことができるよう編集した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年「アップルロード作戦」P72-77、「日本探しの旅」P122-127</li> <li>● 2年「相馬野馬追の季節」P52-57、Thinking「法隆寺—四〇〇年の遺産を未来へ」P58、「国—王貞治」P102-105</li> <li>● 3年「千年先のふるさとへ—宮城県女川町」P170-174、Thinking「最後の石碑、そして未来へ」P175</li> </ul>

検討の観点	教科書の特徴	具体例
⑨国際理解に対応した指導ができるよう工夫されているか。	●発達段階に応じて、国際理解を深め、世界に貢献する態度を養うことができるような教材を用意した。	●1年「国際協力がってどうということ？」P144-149 ●2年「真珠の水—中村哲」P166-171 ●3年「海と空—樫野の人々」P60-64
⑩人権・福祉に関わる教育の観点からの配慮がされているか。	●「共に生きる社会」をテーマとし、複数教材を組み合わせたユニットを配置し、連続して学習ができるように工夫した。	●2年「地下鉄で」「加山さんの願い」「迷惑とは何ぞ」Thinking「共に生きるために、共に考える」連続P144-P159 ●3年「ベビーカー論争」「目の見えない白鳥さんとアートを見に行く」「分身ロボットカフェへようこそ」Thinking「弱者をつくらない社会」連続P66-P83
⑪オリンピック、パラリンピックに関する指導への工夫がされているか。	●オリンピック、パラリンピックで活躍した人物をさまざまな内容項目で取り上げ、その生き方から、道徳的価値を考えさせるように編集した。	●1年「挑戦すること、生きる—羽生結弦」P18-22、「パラリンピックを駆け抜けた『さずな』—道下美里」P84-88 ●2年「第二の水泳人生—池江璃花子」P12-15 ●3年「道徳 はじまりの時間 自分と向き合う」町田瑠唯選手 P6-9
⑫食育や心身の健康保持の推進に関する指導への工夫をしているか。	●食育や健康教育に関わる教育活動との関連を図ることができる教材等を全学年に掲載した。	●1年Thinking「あなたの生活習慣は？」P49、「日本探しの旅」P122-127 ●2年「いつでも・どこでも・SNS」P44-47、「ほどほどライン」P48-51 ●3年「リアルとネットの不思議」P56-59 など
7 地域性や家庭や地域社会への配慮がされているか。	●地域の課題とその解決を題材とした教材を掲載し、地域社会における協働の重要性を学べるよう編集した。特に中学生と地域の関わりをテーマにした教材やコラムを掲載し、自分事として考えられるようにした。 また、Thinking（コラム）も含め、北海道から沖縄県までの地域を取り上げ、生徒が自分の地域の魅力に目を向けられるような工夫をした。 ●家族との関わりや家庭での出来事を描いた教材を数多く掲載し、家庭との連携を円滑に促す工夫をした。	●1年「アップロード作戦」長野県P72-77、Thinking「除雪から広がる地域交流」北海道P109 ●2年「樹齢七千年の杉—屋久島」鹿児島県P38-42、Thinking「水への恩返し—福井県から東ティモールへ」福井県、長野県、宮崎県P172-173 ●3年「六万円のご縁」沖縄県P42-45、「ゼロ・ウェイストの町—徳島県上勝町」P134-139 ●全学年 巻末 Thinking「ふるさとに学びを広げよう」P182-183 など ●1年「美しい母の顔」P162-165 ●2年「一冊のノート」P160-165 ●3年「おひだまり」P14-18 など
8 生徒の発達段階を考慮した学習ができるように工夫した。	●各学年を通して、あるいは学年が上がることによる生徒の発達を考慮して、教材を配列した。 ●全体の構成にあたっては、「自主、自律、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」を「重点内容項目」と設定して、全学年において3教材、3時間を配当した。	●全学年 全教材 ※「よりよく生きる喜び」 ●1年「魚の涙」P32-35、「銀色のシャープペンシル」P94-98、「いつわりのバイオリン」P168-173 ●2年「よみがえった良心」P106-111、「足袋の季節」P134-136、Thinking「つまづいたおかげで」P137、「ネパールのビール」P174-178 ●3年「君たちはどう考え、どう生きるか」P38-41、「二人の弟子」P120-125、「響け、私のトロンボーン」P152-157

## ●学習指導要領 指導計画上の配慮事項との関連●

検討の観点	教科書の特徴	具体例
道徳教育の全体計画に基づき、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連を考慮しながら、道徳科の年間指導計画を作成するように配慮されているか。	●各教材は、各教科における学習内容や他の教育活動、季節や行事などとの内容的・時期的関連を考慮し、掲載順に取り扱うことで効果的な学習が期待できるよう配列を工夫した。	●全学年 全教材
	●各学年の巻末には各教材の該当内容項目や各教科等との関わりを一覧で掲載し、年間指導計画の作成において参考となるよう配慮した。	●全学年 巻末「内容一覧」
内容項目について、各学年において、すべて取り上げているか。	●22の内容項目は、各学年もれなく35本の教材に取り上げた。	●全学年
	●各学年の巻末には該当学年で学ぶ内容項目についての「内容一覧」を設け、内容項目順に配列した。	●全学年 巻末「内容一覧」
3年間を見通した重点的な指導や内容項目間の関連を密にした指導、一つの内容項目を複数の時間で扱う指導を取り入れるなどの工夫をしているか。	●いじめ防止とも関わりの深い内容項目「自主、自律、自由と責任」「思いやり、感謝」「生命の尊さ」「よりよく生きる喜び」を重点項目とし、これらに関する教材について全学年3教材、3時間を配当した。	●1年「旗」P138-143 ●2年「消えない落書き」P30-33 ●3年「ピヨ子」P50-54 など
	●巻末の「内容一覧」では、教材の関連内容項目を参照しながら、複数の内容項目との関連を密にした指導を立案することができるよう内容項目を明示した。	●全学年 巻末「内容一覧」

## ●組織・構成・配列●

検討の観点	教科書の特徴
1、生徒の発達段階に即して、学習が展開できるよう教材が系統的・発展的に構成・配列されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各生徒の発達段階や各教科の学習内容や他の教育活動などとの時期的・内容的関連を考慮して配列した。</li> <li>●「『いじめ』を考える」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会」などの重要なテーマはユニット化して連続して配列し、学年を通して学びを深められるようにした。</li> <li>●各学年の授業開きでは、「道徳 はじまりの時間」という教材を配置し、今の自分を振り返って具体的にイメージできるよう工夫した。</li> </ul>
2、「個別最適化」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「考え議論する道徳」ならびに「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒が主体的に道徳的価値の理解や人間としての生き方について考えを深めることができる教材を精選した。</li> <li>●各教材には「考えの道すじ」「自分を見つめて考える」あるいは「いろいろな見方で考える」「考えを深める」という発問や「自分との対話」で自分事として考えさせる発問などを用意した。一連の発問を通じて、どの生徒でも道徳科の目標に定める学習ができるように構成し、指導において対話的で協働的な学習を促すことができるよう工夫した。</li> <li>●グループでの役割演技や話し合いが活発にできるような体験的学習の「MY PLUS (マイ・プラス)」ページを用意した。</li> </ul>
3、ICT活用の取り組みに配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教材のタイトル下に配置した二次元コードから、学習の広がりや深まりを促すため、授業での導入や終末に用意した資料（動画、写真など）を活用し活発な学習活動ができるよう工夫した。</li> <li>●「朗読」や「デジタルあらすじ板書」を用意して、授業づくりに役立つ工夫をした教師用指導書の発行を予定している。</li> </ul>
4、「カリキュラム・マネジメント」の視点からの配慮はされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各教科や他の教育活動との関連を図って学習することができるよう教材を選定し、教材ごとにそれぞれの関わりを各学年の巻末「内容一覧」に示した。</li> <li>●各教材には「自分を見つめて考える」あるいは「いろいろな見方で考える」「考えを深める」という発問や「自分との対話」で自分事として考えさせる発問などを用意した。一連の発問を通じて、どの生徒でも道徳科の目標に定める学習ができるように構成し、指導において対話的で協働的な学習を促すことができるよう工夫した。</li> <li>●連続した配列によるテーマユニットは設けているが、各学校の実態に合わせた柔軟な指導計画も可能となるよう配慮した。</li> </ul>

検討の観点	教科書の特徴
5、教師の働き方改革に寄与するような配慮がされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教師が「ねらい」に迫れるように「授業構想」を分かりやすく解説するとともに学習指導案を2例掲載し、具体的な授業の流れをイメージできるような教師用指導書の発行を予定している。</li> <li>●教師が生徒と向き合う時間を増やせるように全教材の「デジタルあらすじ板書」や「朗読」を教師用指導書に収録することを予定している。</li> <li>●教材に掲載した二次元コードから、授業の導入や終末でそのまま使用できる動画や、すぐに利用できる写真、資料を見られるようにした。</li> <li>●教材の最後に示した「考えの道すじ」と発問をそのまま活用するだけでも、主体的・対話的で深い学びにつながる授業展開になるよう構成した。</li> <li>●全体を通してシンプルな構成とデザインで、教師が迷わず授業を実施できるように配慮した。</li> </ul>
6、内容と分量は適切か。	●各学年で年間の授業時数に対応した35本の教材を用意した。

## ●表記・表現、造本●

検討の観点	教科書の特徴
1、表記や表現、文言への配慮はされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒の読み取りに差異が生じないよう、未習の漢字には初出のみならず、すべてにふりがなを付した。ただし、固有名詞は文章の読みやすさを考慮し、教材初出のみにふりがなを付した。</li> <li>●学習上説明を要する文言や固有名詞などに、必要に応じて脚注を付した。</li> </ul>
2、特別支援教育・ユニバーサルデザインへの対応はされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう、色の識別のみによらず、文字情報ははじめマークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるよう配慮した。</li> <li>●特別支援教育とカラーユニバーサルデザインへの対応は、専門家による校閲を経ている。</li> <li>●読みやすさに配慮したUDフォントを使用し、文字の大きさに配慮した。</li> </ul>
3、人権や多様性への配慮はされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめや差別を許さない心を育むさまざまな教材を選定した。</li> <li>●教科書全体を通して、登場する男女のバランスを考慮した。</li> <li>●多様な性の実態に配慮して、例えば挿絵ではスラックス姿の女生徒や性別を規定しない生徒の姿も描いている。また、LGBTQ+ などを取り上げて、多様な性のあり方を紹介した。</li> </ul>
4、造本上（体裁、製本、印刷、用紙）の配慮はされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●判型はB5判で軽さや持ちやすさ、机上での広げやすさに配慮した。</li> <li>●裏表紙の名前欄は、書きやすいように加工した。</li> <li>●環境への配慮から、印刷には植物油インキを使用し、用紙は再生紙を用いた。</li> </ul>